

## 祝 創立記念日 祝

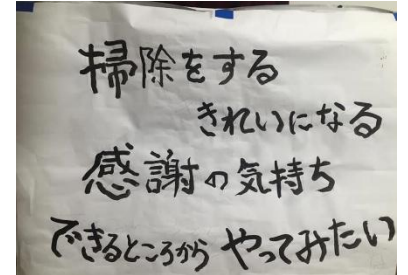
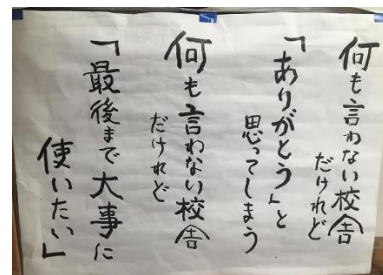
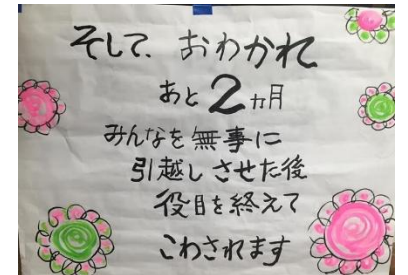
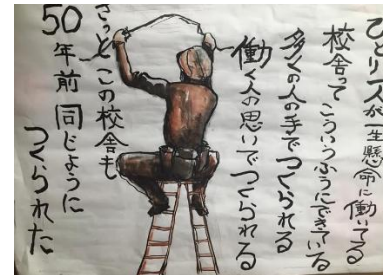
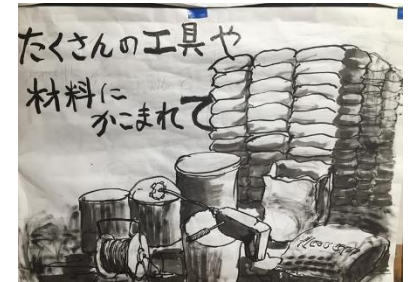
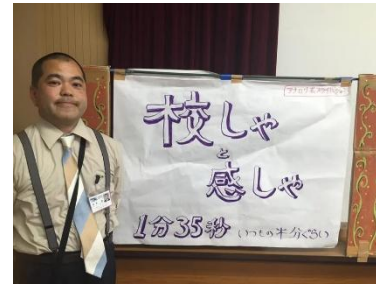
本日4月15日は立花高等学校69回目の創立記念日、つまり『お誕生日』です🎂  
昭和32年(1957年)4月15日に、この地(今の体育館の下)に『明林高等学校』として開校しました。その後1963年に『第二高等学校』、1966年に『立花女子高等学校』、そして1973年に共学化とともに現在の『立花高等学校』と名前を変えながら、今日まで69年の歴史を悠々と刻んできました。

難しい話になってしまいますが、昭和32年とは太平洋戦争が終結してまだ12年後です。GHQ(連合国軍最高司令官総司令部)の教育介入に危機感を抱いた当時の公立学校の先生方が『自由な学園』『理想の学園』を自分達で創ろうと公立学校を退職し、その退職金を持ち寄って創立したというものすごいエピソードが残っています。その創設者として先生方に就任をお願いされたのが当日57歳だった安部清美。玄関を入った左側に胸像が飾ってありますので是非見て下さいね。とても素晴らしい教育者だったそうです。

と言うような難しいお話をしても、なかなかピンときませんよね?それでいいのです。皆さんが時には悩みながらも毎日の学校生活を一生懸命おこなっているだけでも、亡き安部清美先生はもちろん、これまで本校を支えて下さった方々は全員喜んで下さっているはずですよ。それだけでも十分です。

今から9年前まで今の運動場のところに旧校舎が建っていました。今の校舎と比べ物にならないほど古い校舎でしたが、今の校舎と何ら変わらない素敵な先輩方の笑顔に包まれていました。そんな9年前に、美術の新里先生が全校集会でお話された内容を写真で紹介しますね。何かを感じて下さいね。

## ~「校しゃと感しゃ」と題したあの日の新里先生のお話し~



私達が今使っているこの空間には、こんな気持ちが生きているのです。そんな感性こそが、69年間立花高校が守り抜いてきた何かなのかもしれません。歴史は何も言いません。私達は聞こえない声を感じ受け継いでいく一人なのです。